

委員会所管事務調査テーマ

「地域内経済の循環」に関する政策提案

飯田市議会 産業建設委員会

はじめに

飯田市においては、人口減少・少子高齢化時代にあつて、リニア中央新幹線開通・三遠南信自動車道の全線開通を見据え、「いいだ未来デザイン2028」の確実な推進が望まれています。後期計画（令和7～10年度）では、将来の飯田市のあるべき姿を見据えた、中・長期的視点に立った施策展開、その市政運営に期待をするところです。

私たち産業建設委員会では、当委員会の所管する産業経済の振興を基本とし、環境文化都市を掲げる飯田市として、地域資源の活用を視野に入れながら「地域内経済の循環」を所管事務調査のテーマとし、農業、林業、商業、工業、観光等、さまざまな分野を学びながら、令和5年度から委員会として調査研究活動を行ってまいりました。

地域内経済の循環とは、基本的に地域に「生産・販売」「分配」「支出」という3つの要素があり、この中でお金が回っていく仕組みであり、「生産・販売」から生まれた所得が地域の住民や企業に「分配」され、分配された所得を用いて「支出」される。支出の部分で例えば、市外の方に飯田の物を買ってもらい地域の中にお金を入れてもらうこと、そして私たちが域産域消などにより地域の中からなるべくお金を出さないこと、そうすることにより生産・販売へ還流する額が増加し、地域内経済が好循環化していくものと認識しています。

「地域内経済の循環」、本来このテーマは幅が広く、そして内容も深いものと認識していますが、将来の飯田市を見据えた時、とても重要であることは、誰もが感じていることと思います。市民の皆さんが普段の生活の中で取り組むこと、企業や生産者の皆さんが取り組むこと、そして行政が支援すること、少しずつでも、みんなで意識し行動していける環境をつくっていくため、次の4つの項目について政策提案いたします。

なお、本提案に合わせ、これまで3つの要素を基本とし取り組んできた、2年間の議会報告・意見交換会で市民の皆さんから聴かせていただいた普段の買い物の現状や域産域消・ブランド化に対する意識などをまとめたアンケート結果、委員会で実施した市内スーパー24店舗の踏査結果についても資料提供させていただきます。

1 政策提案事項

(1) 消費者・企業・生産者の意識啓発について

地域内経済の循環の推進に向け、消費者の行動変容を促すだけでなく、企業や生産者が地域内経済の循環の意識を高められるような取組を展開されたい。

(2) 地域経済循環の実態調査の必要性について

(株)キヌヤさんの地元である島根県益田市の視察をさせていただいた。益田市では、飲食業界を中心に「地域経済循環調査」を行っていた。具体的な品目ごとの現状分析がされており、今後の方向性を考えていく上で、大変重要な視点であると感じた。飯田市も益田市に習ってそうした業界の実態調査から取り組まれたい。

(3) 店舗等におけるポップ等による意識啓発について

域産域消を更に推進するため、踏査結果からもスーパー24店舗中、20店舗が「地元産コーナー」を設置している現状から、飯田市共通の看板やポップ等を作成しPRしていただくことで、消費者、企業、生産者の意識向上につなげられたい。

(4) 新たなブランド化の仕組みづくり

山口県岩国市のブランド化の取り組みを視察させていただいた。岩国市には、9つの代表するブランド（岩国寿司、由宇とまと、天然鮎、高森牛、岩国れんこん、岸根ぐり、こんにゃく、わさび、地酒）があり、これを軸として、地酒は5つの酒蔵の銘酒をブランディング、そしてその日本酒のつまみをブランディング（つまんでちょんまげ）といったように、ブランディングの形が2層3層になっていた。まずは軸となるブランドがあり、地域資源のブランド化、そして新商品のブランド化など、ブランド化の方向性を推進協議会で決定し、PRパンフレットも工夫されたものが作成されており、素晴らしい取り組みと感じた。

飯田市においても更なるブランド化の取り組みについて、例えば、地域資源を活用した新たな商品のブランド化にチャレンジできるような仕組みを検討されたい。

2 取り組みの経過（別紙1）

3 添付資料

- (1) 令和6年度議会報告・意見交換会 第3分科会資料（令和5年度集計結果）
（別紙2）
- (2) 市内スーパー24店舗 産業建設委員会 踏査結果
（別紙3）

主な取組の経過

令和5年度

- 1 管外視察（7月6日～7日）
 - (1) 岐阜県 飛騨市
地域通貨「さるぼぼコイン」の取り組みについて
 - (2) 三重県 桑名市
竹資源を活用した地域内循環の取り組みについて
 - (3) 三重県 多気町
三重広域連携モデル「美村-VISONプロジェクト」について
地域資源を活用した広域観光連携の取り組みについて
 - (4) VISON（地域の活性化を目指して設立された複合型滞在施設）
デジタル田園都市国家構想について
地域課題を先端技術で解決する取り組みについて

2 議会報告・意見交換会

第3分科会テーマ

地域内経済の循環（地域のお金を地域の中で回すためには）

- 地域の資源になり得るものは
- 普段の買い物の現状について（域産域消の取り組みなど）
- 使いやすい地域通貨について

令和6年度

- 1 管外視察（7月3日～5日）
 - (1) 島根県 益田市
益田市の地元産農作物の地域内循環、ブランド化による販路拡大の施策
 - (2) 株式会社キヌヤ
株式会社キヌヤの経営戦略等について
 - (3) 山口県 岩国市
地元産農産物のブランド化及び販路拡大の取り組みについて
 - (4) 大分県 臼杵市
ほんまもん農作物、有機の里づくり、新規就農者支援の取り組みについて
 - (5) 熊本県 道の駅阿蘇（阿蘇市）
道の駅阿蘇の取り組みについて

2 委員会協議会勉強会①（6月14日）

- (1) まちの八百屋システムについて
- (2) 飯田市森林整備計画について（森林資源の活用）

3 委員会協議会勉強会②（6月21日）

- (1) 飯田市の農畜産業の現状について
 - ① 地元農作物の現状
 - ② 伝統野菜（特色ある農産物）
- (2) 南信州・飯田産業センターネスク・イイダについて

4 委員会協議会勉強会③（9月19日）

- (1) 地元スーパー現地踏査
市内スーパー24店舗の協力を得て、地元農産物の取扱い状況について踏査

5 委員会協議会勉強会④（9月25日）

- (1) 地元産農畜産物のブランド化について
- (2) 地域ポイント実証実験について

6 委員会協議会勉強会⑤（10月23日）

- (1) 木材流通の全般について
講師：飯伊森林組合 木材流通センター所長

7 議会報告・意見交換会

第3分科会テーマ

「地域内経済の循環（地域のお金を地域の中で回すためには）」

令和5年の議会報告意見交換会のアンケート調査結果の報告を基に以下の視点で意見交換した。

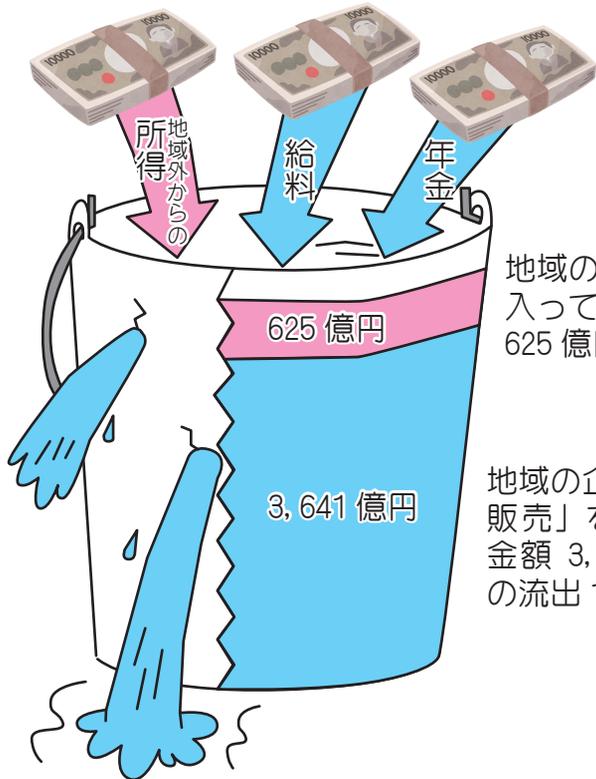
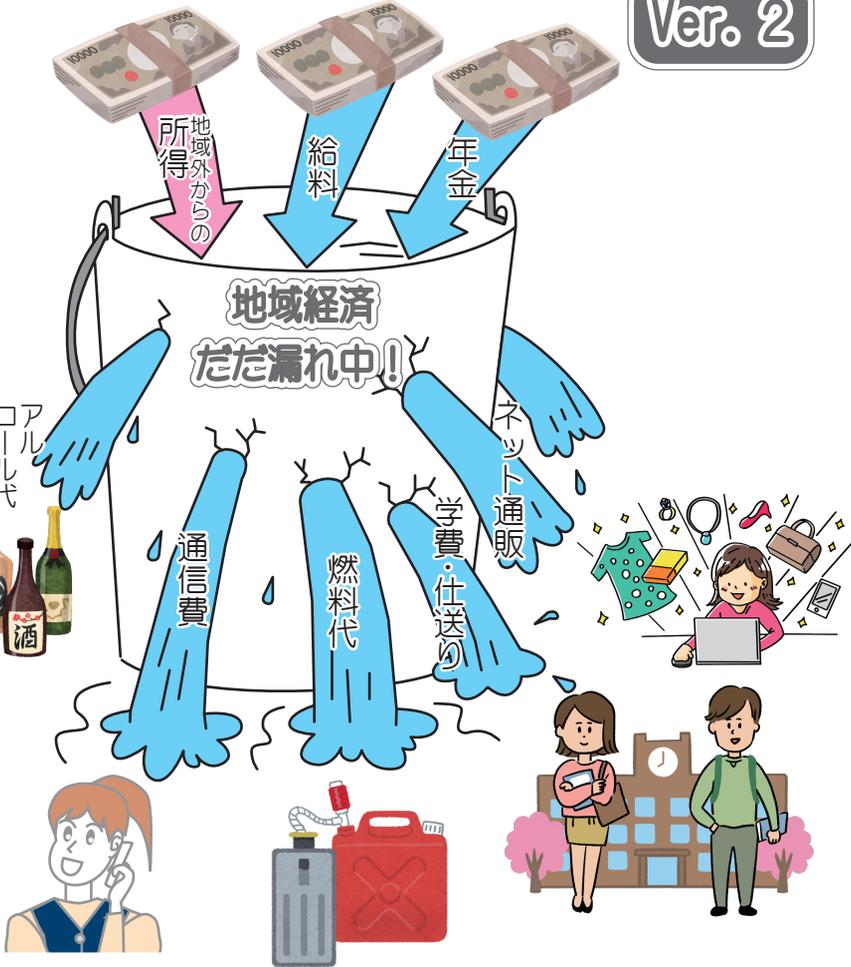
- 域産域消を進めるには
- 地域の資源になり得るものは
- 使いやすい地域通貨は

第3分科会「地域内経済の循環」

～地域のお金を地域の中で回すためには～

Ver. 2

地域経済のバケツがただ漏れになっています。入ったお金が次から次へと外に漏れています。少しでも穴を小さく修復できるように、みんなで知恵を出し合い、考えてみましょう！

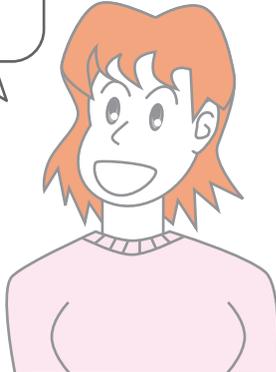


$$\frac{\text{地域で稼いだ所得金額} \quad 3,823 \text{ 億円}}{\text{バケツの容量} \quad 4,266 \text{ 億円}} = \text{地域経済循環率} \quad 89.6\%$$

地域の外から入ってきた所得 625 億円

地域の企業・事業所が「生産・販売」を行い所得を稼いだ金額 3,823 億円 - 地域外への流出 182 億円 = 3,641 億円

意外と地域の外に頼っている金額って大きいのね。



アンケート集計 ①

～普段のお買い物の現状について～

令和5年度 議会報告・意見交換会の第3分科会（産業建設委員会）は、「地域内経済の循環」をテーマとし開催しました。

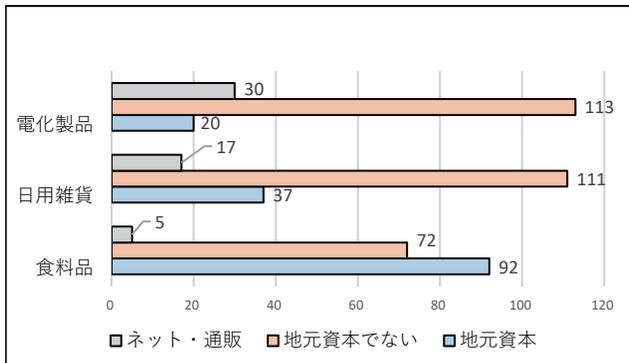
人口減少社会、そしてネット社会となり、地方から都会に人やお金が流れ出ているのが現状です。地域が豊かになるためには、地域の中でお金を回すこと、地域の外からお金を流入させていくことが重要です。

まずは今の現状を把握するため、身近な普段の買い物の現状について、意見交換を行いました。第3分科会参加者161人のうち、148人の方からご意見をいただきました。

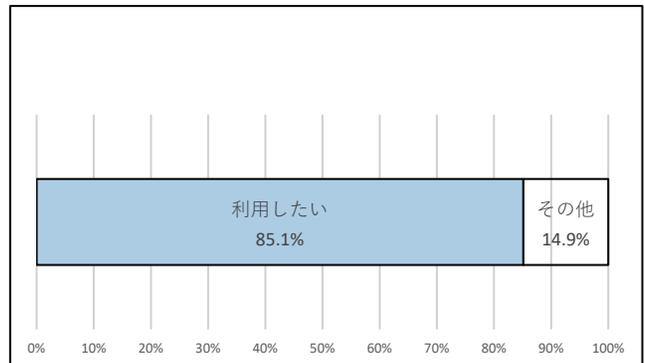


【全地区】（回答者148人）

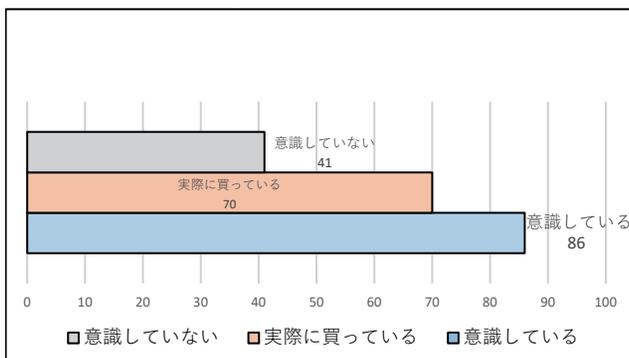
日頃利用されるお店は地元資本ですか



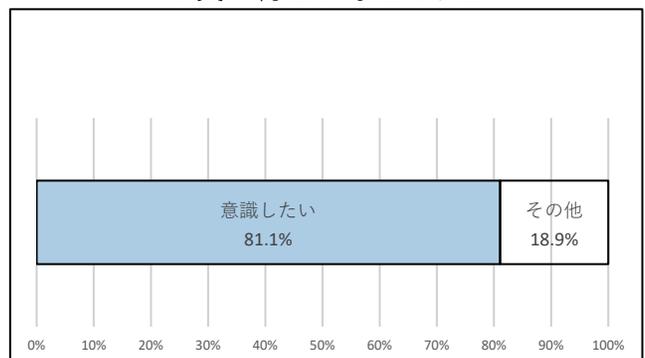
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



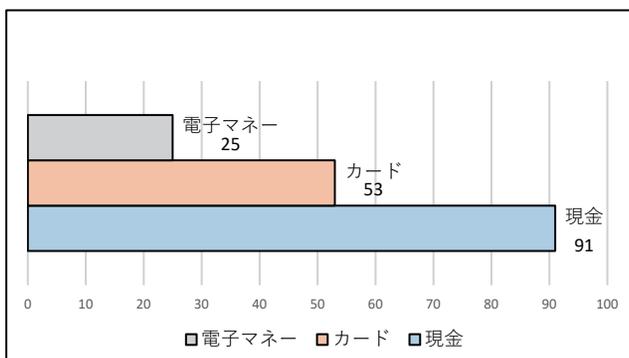
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



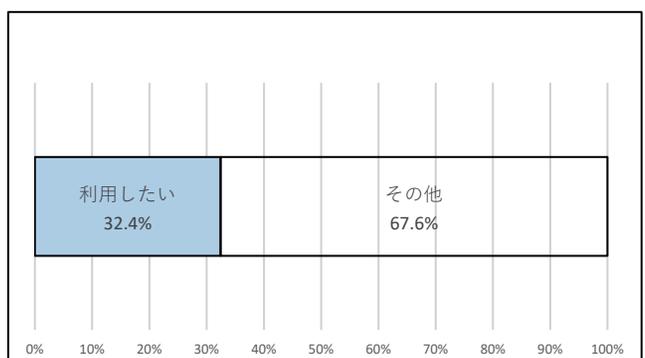
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



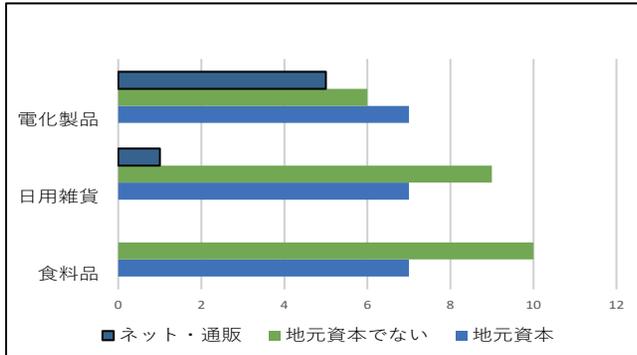
アンケート集計 ②

～ 地区別 上村・南信濃地区 ～

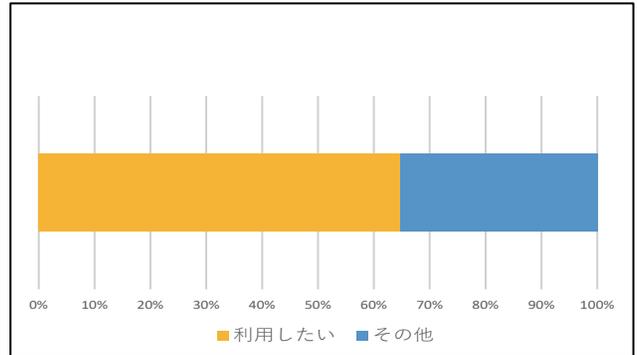


▼ 回答者 17人

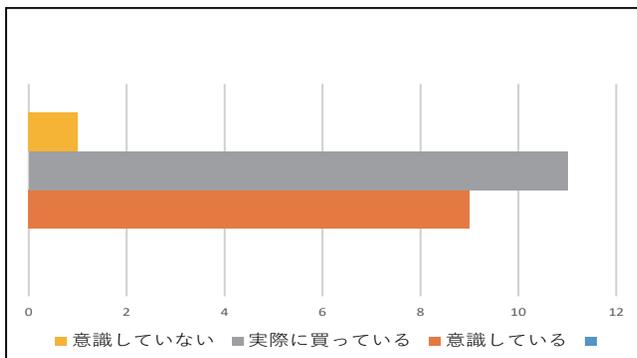
日頃利用されるお店は地元資本ですか



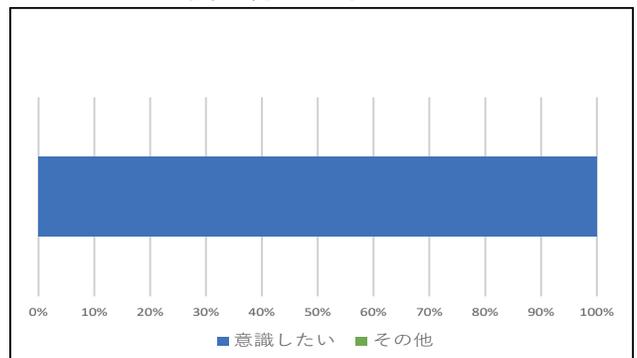
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



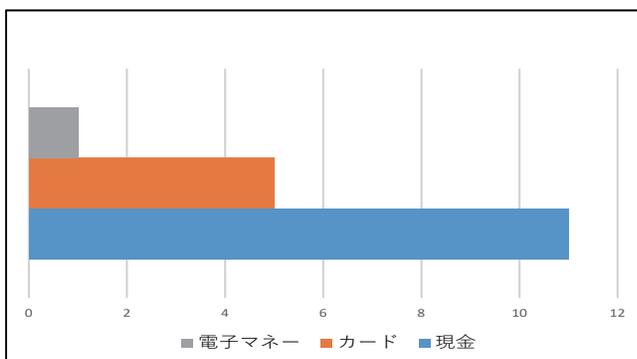
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



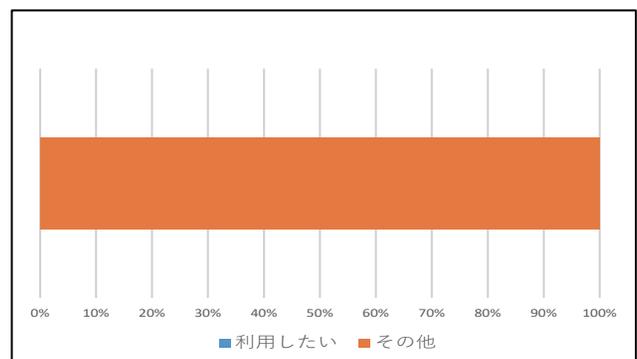
今後、地元農産物を意識したお買い物を考えますか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見 (抜粋)

- ・人口減少が進む遠山谷で、自分たちが考える地域内循環は、遠山谷での循環。飯田市の中で循環と言ってもピンと来ない。
- ・畑があって野菜はほとんど買っていない。
- ・スマホも使えない高齢者が多い。紙ベースで考えてほしい。紙だと印刷代がかかると言っても、スマホにかかる個人の経費をどう考えるのか。
- ・電子マネーが使えなければ、「いいです」と、若い人はよその店に行ってしまうので大切なのは分かる。率がいい良いものをつくってくれば、地域通貨を使う。そうでなければ使わない。イオンは最強。
- ・私たちの地域の一次産業は、全く良い状態ではない。この地域（遠山）は林業で潤ってきたが合併当時、約6,000町歩の山林が飯田市へ行った。6,000町歩の市有林を持っている飯田市は、全国でも屈指だと思う。そのことを、どう捉えているのか。地域内経済の循環で一次産業が活かされていない。

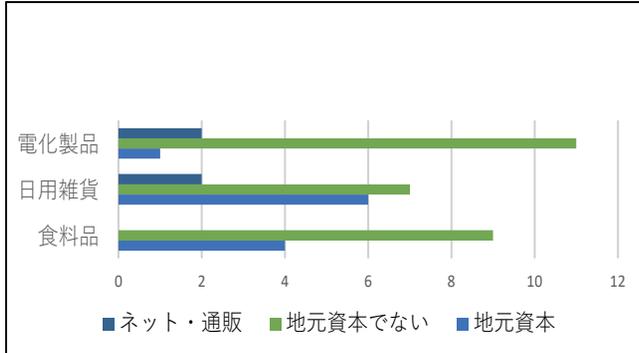
アンケート集計 ②

～ 地区別 松尾地区 ～

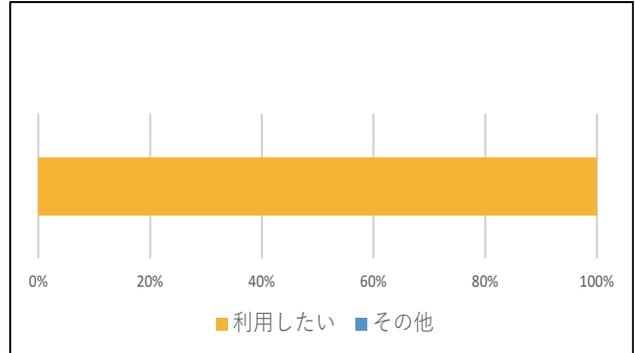


▼ 回答者 13人

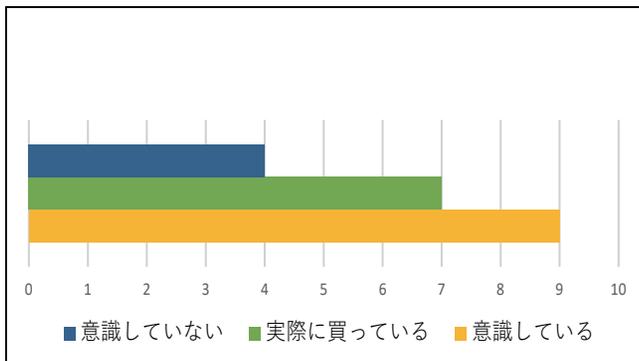
日頃利用されるお店は地元資本ですか



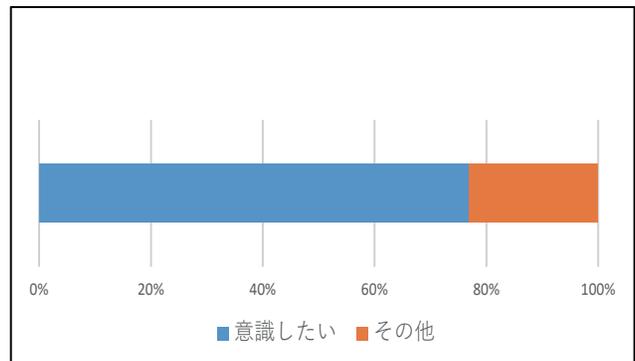
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



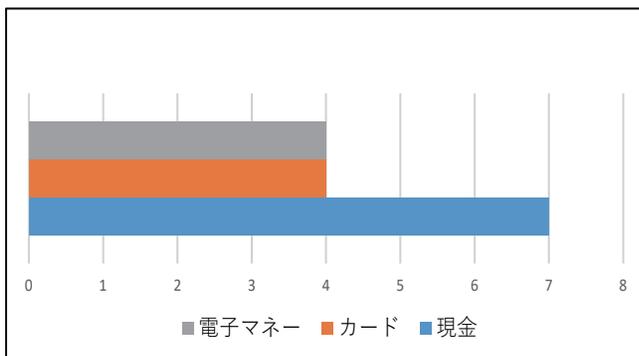
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



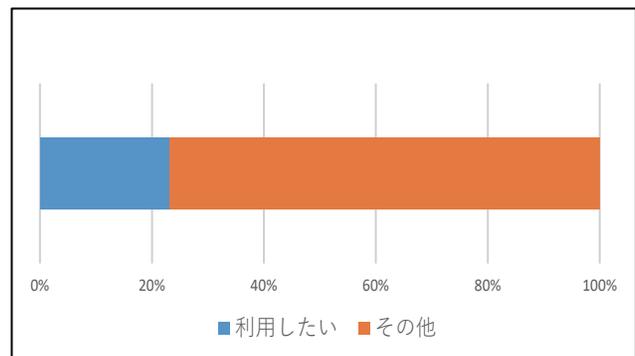
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- ・地元ではない大きな店で買い物はしている。その理由は一カ所で何でも揃うことと選べる範囲も広い。更に交通の便が良いところに立地しているからである。
- ・八幡には「コープながの」があり、ほとんどそこで買い物はしている。その理由は、近いお店であり高齢者層も多い為使い勝手が良い。
- ・最近パン屋も魅力的な店が増えている。わざわざそこへ買いに行くし、並んでも買おうとする。これは！という名物を創ることが人を集める。
- ・野菜でも肉でも地元販売コーナーがあれば、殆どの人が意識するのではないか。
- ・地域通貨について問題点もあると思う。1点目は、どこの店でも使えるように出来るのか。2点目は小規模店の場合、カード機能を利用できるようにする設備などをお店負担とするのか。
- ・豊丘マルシェでの昨年の集客も県内道の駅で第10位の成果を出していると聞く。松茸、果物など地域資源を活用した結果と受け止めている。身近にあるものをその良さにどう気づき、活用できるかがポイントと思う。

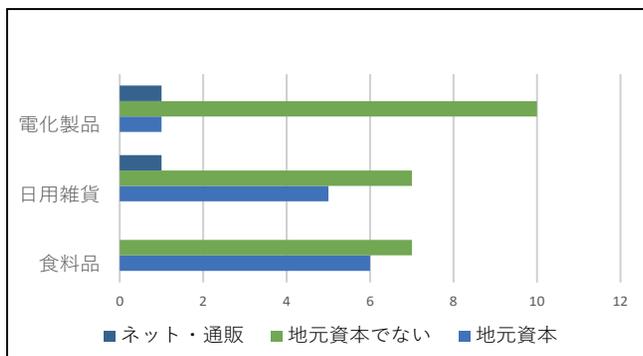
アンケート集計 ②

～ 地区別 県地区 ～

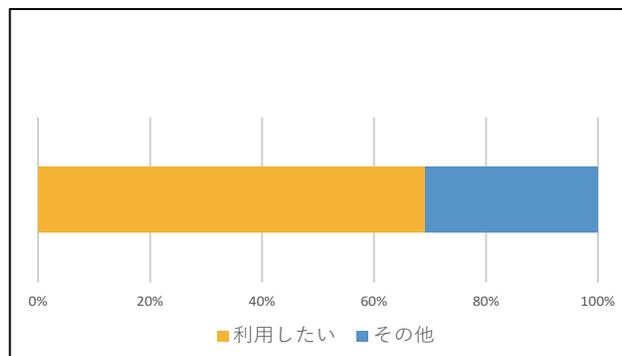


▼ 回答者 13人

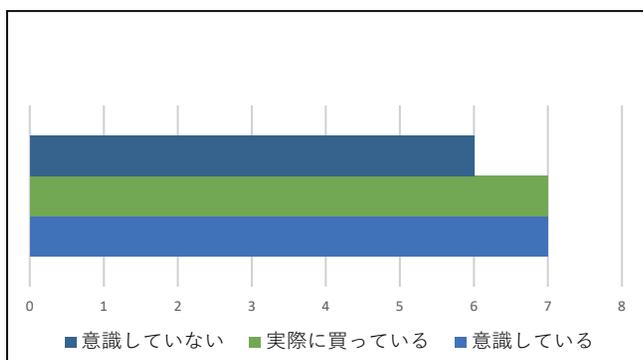
日頃利用されるお店は地元資本ですか



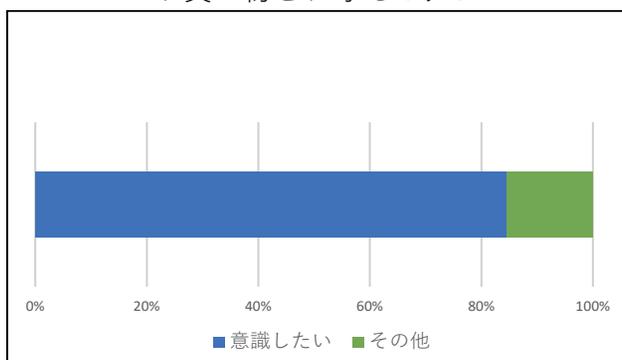
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



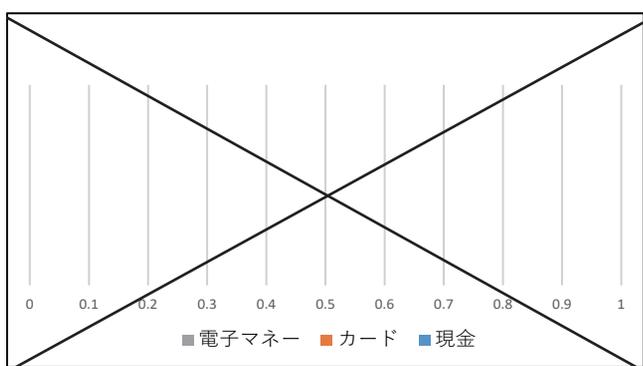
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



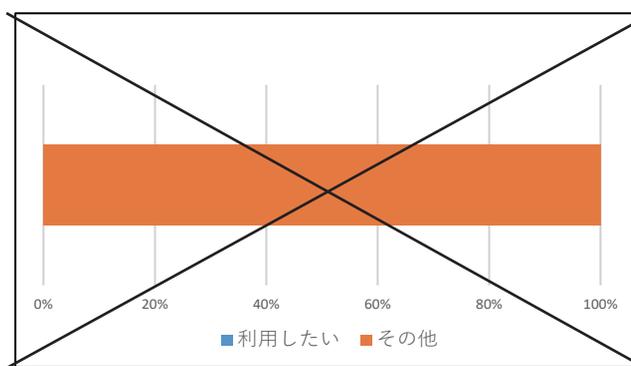
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見 (抜粋)

- 普段の買い物は自分も商売をしているので地元で買う。奥様は違うようだ。
- 近くにイオンがあって色々揃っているので行く。また安い所へ行く。
- 近くでないとなんか行けないので近くの大型店に行く。
- 大学生が外から来た時、五平餅・焼肉を喜んでくれた。
- リニア駅でレンタサイクルも考えた方が良さそう。
- 地域通貨は地元で使えるところが多くなれば使う。
- 地域通貨は飯田市だけで使えるカードは手数料・機械料が問題だ。
- 焼肉のまち、飯田市の中でのみの活動では？都会からは来ない。
- お漬物のおもてなしはすごく喜ばれる。都会から来た人には「おもてなし」が売りになる。
- 人口を増やすには企業誘致し、地元で働ける場がまず必要。

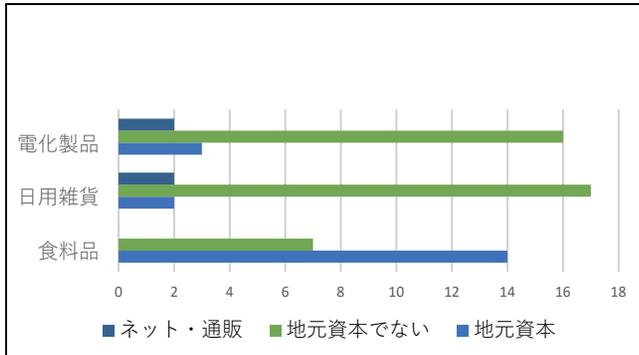
アンケート集計 ②

～ 地区別 伊賀良・山本地区 ～

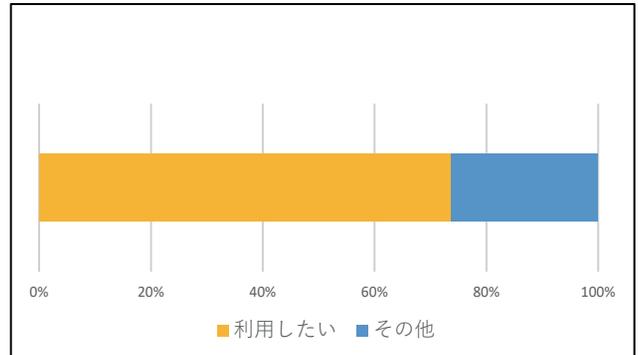


▼ 回答者 19人

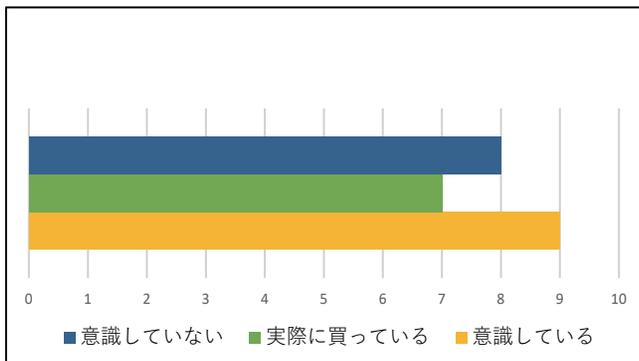
日頃利用されるお店は地元資本ですか



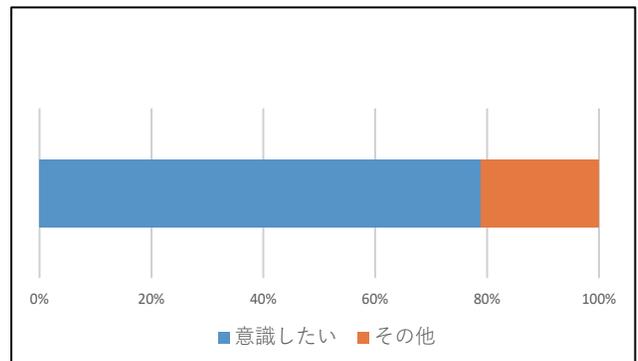
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



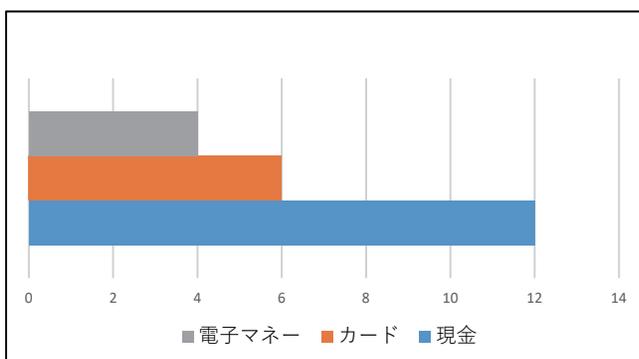
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



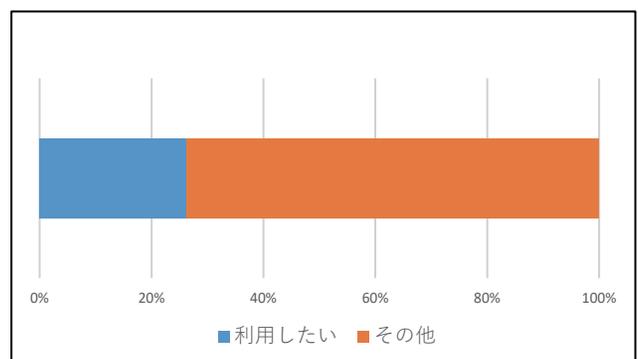
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見 (抜粋)

- ・日用雑貨については、種類がいっぱいあり1カ所で済ませられる所を選ぶ、近所に雑貨屋がない。
- ・キラヤを使っている納税を考えれば地元企業を使うように家族内でも推奨する。
- ・地元で電気屋さんがない、大型店への依存度が高い。
- ・リンゴの里の生産者コーナーや地元の直売所を利用、食品類の基本は生協の宅配を利用。
- ・電化製品・日用雑貨で、すぐに欲しいものはネットを利用。
- ・地元で作った野菜等の製品を売る場所がない。豊丘マルシェのような場所の良いところでの直売所が必要。
- ・店舗により購買の誘導の技術等に差がある。地元資本の企業も陳列等も含め勉強する余地がある。
- ・財産区が1千8百町歩あるが、ヒノキの市場価格が下落している。日本建築による木材利用率が低い、搬出にかかる費用がネックとなっている。山の崩壊にもつながる。
- ・地域のいいもの、本物を生産して外貨を稼ぐ、農産物、製品等、自慢できるモノで外貨を稼ぐ手法の検討が必要。

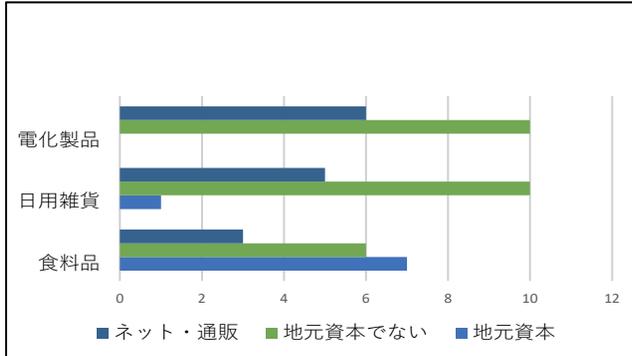
アンケート集計 ②

～ 地区別 座光寺地区 ～

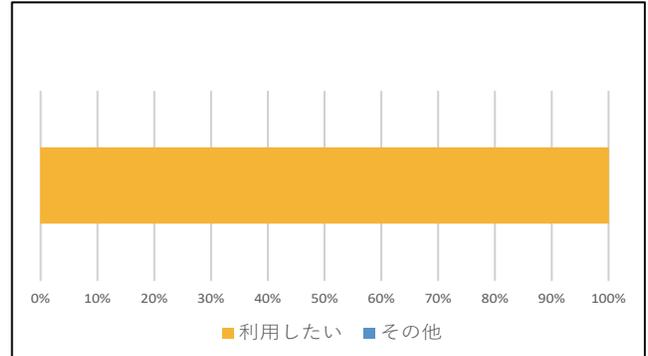


▼ 回答者 10人

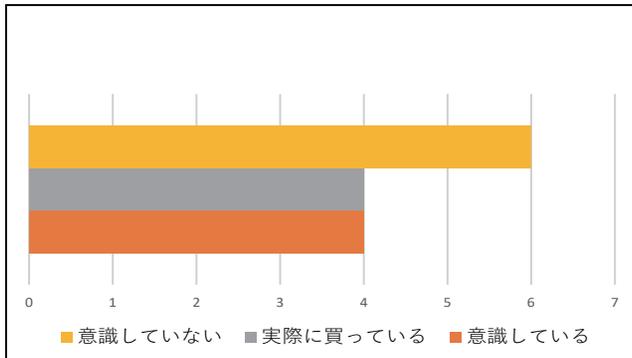
日頃利用されるお店は地元資本ですか



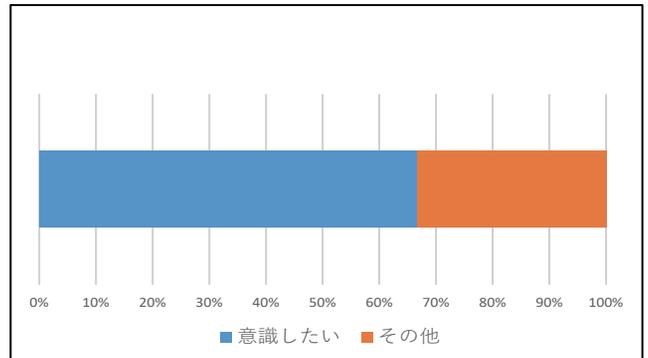
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



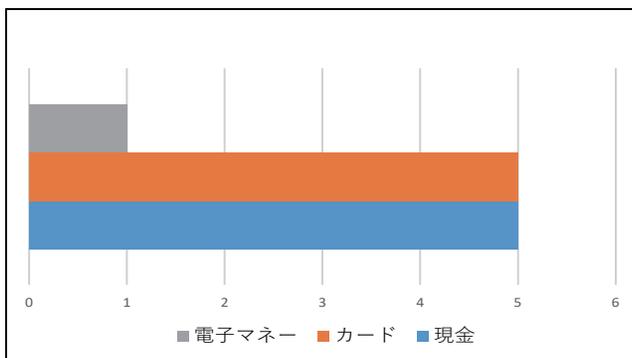
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



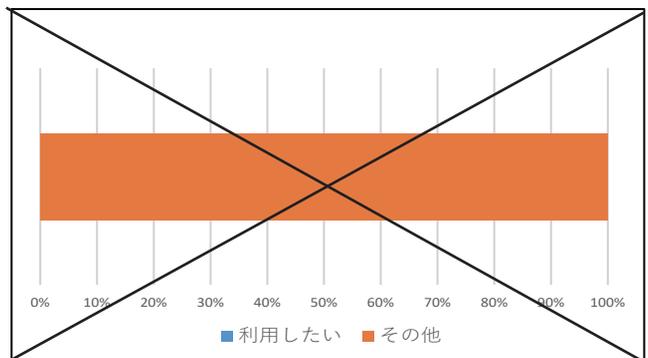
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- 大きな店を使うのはレジャーの一環。半分遊びながら、食事をしながら利用できる。孫から自分たちのものまで全てがそろうので便利。
- リニアの駅ができて飲食店を配置する時、地元の企業をどう優先して配置するのか。県内の新幹線の駅の周りは、外の資本のチェーン店ばかり。地元の方が商売ができるようにするにはどうすればいいのか。
- 座光寺は、子どもたちのために「地域券」を続けているが、小さな小売店には回らない。
- 元善光寺は全国的に知られている。リニアで降りた人を歩かせて、恒川官衙遺跡と元善光寺に立ち寄れるように、一帯の地域資源を活かしてほしい。
- 座光寺は果物の産地でもある。「ここは果物」「ここは観光地」「ここは工業地帯」と区別をして、全ての農地を企業誘致の対象にすべきではない。経済にかたよるとおかしくなる。

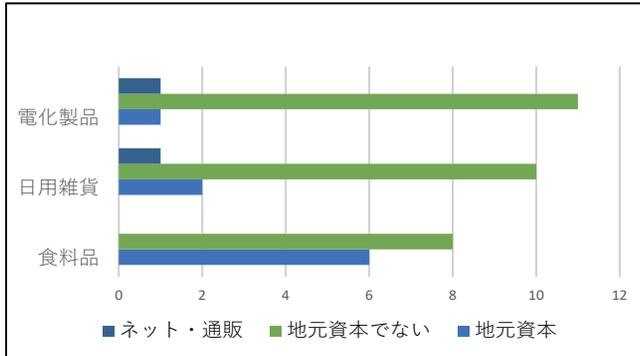
アンケート集計 ②

～ 地区別 上郷地区 ～

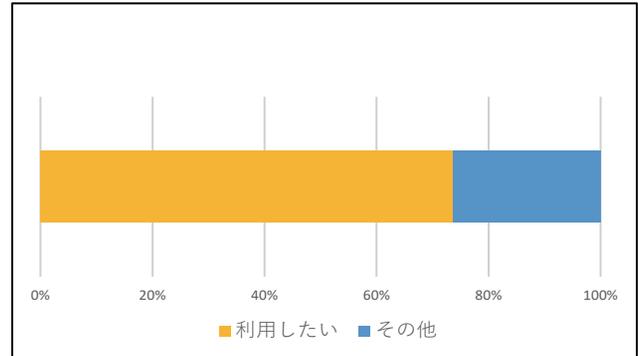


▼ 回答者 12人

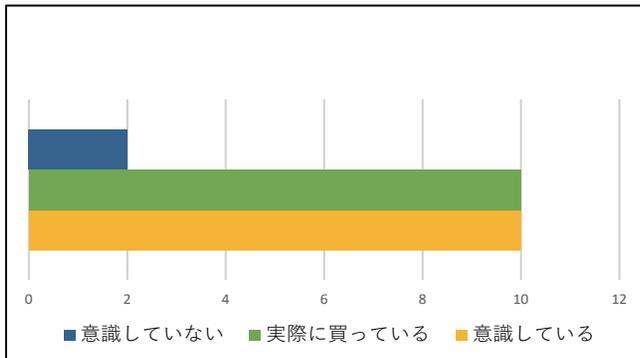
日頃利用されるお店は地元資本ですか



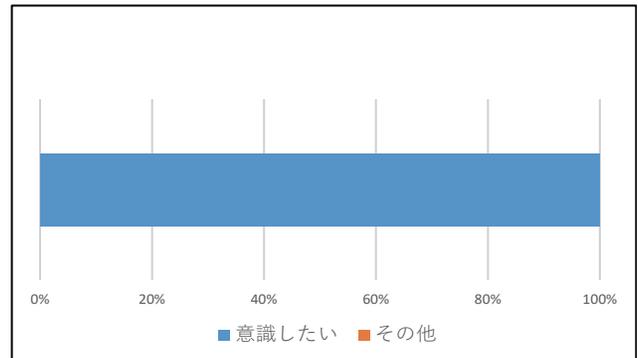
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



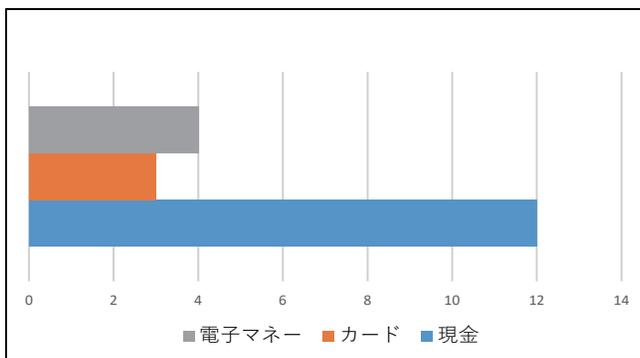
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



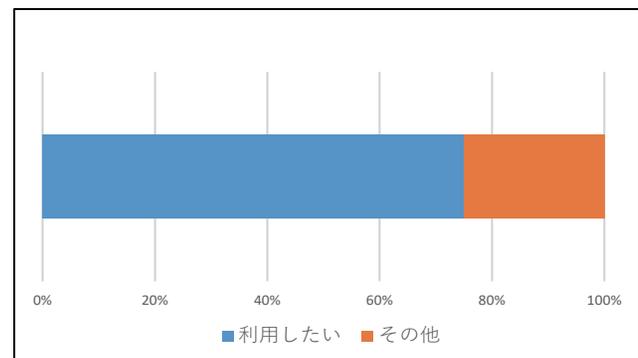
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- ・野菜関係は地元、その他は大型店。電化製品等は量販店を使っている。
- ・ネット利用について、送料が無料、翌日配送の便利さがある。若い年代は特にだと思う。
- ・地元を利用する理由は、修理の時に地元の電気屋さんには親切丁寧な対応をしてくれる。量販店では持ち込まなくてはいけない。
- ・飯田はすべての農産物が作られている地域です。直売所以外では、地域産品野菜等を扱っている店舗が限られていて消費に結びつかない現状がある。
- ・伝統野菜として認可されても品数が少なく、消費も限られ儲けにつながらない。
- ・レストラン等のお店で地元生産品を使ってもらうようにして、消費を拡大していくことも大切。
- ・地域通貨は使える店が多くないと受け入れられない。大型店以外の中小及び地元企業の大半が加盟しないと消費者は使わない。

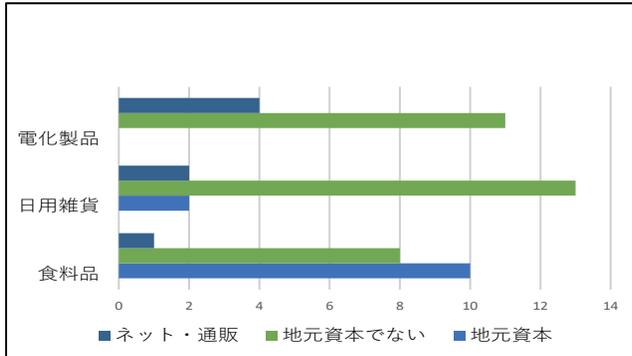
アンケート集計 ②

～ 地区別 竜丘・川路・三穂地区 ～

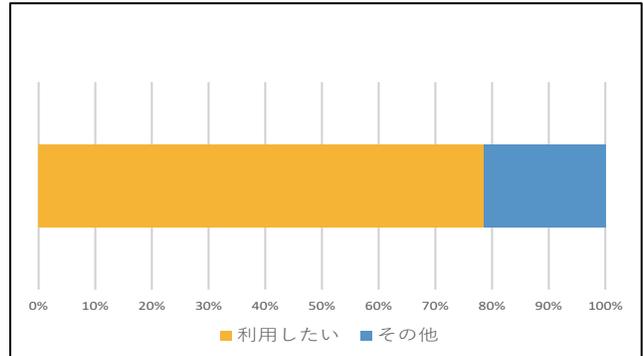


▼ 回答者 14人

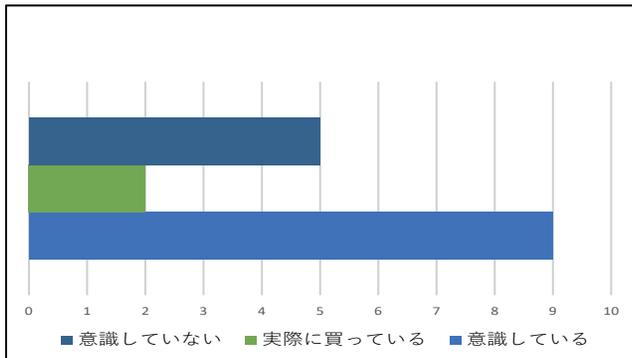
日頃利用されるお店は地元資本ですか



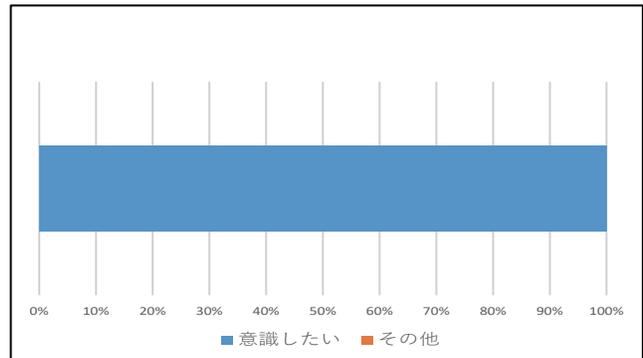
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



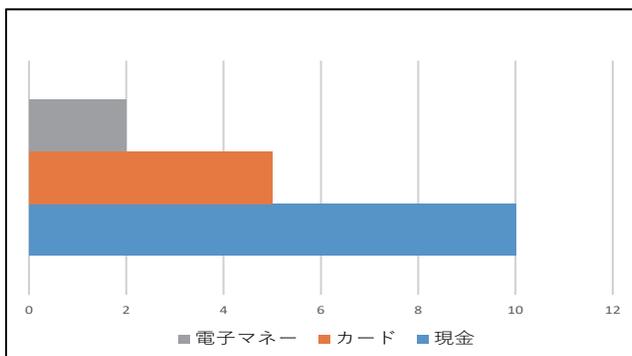
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



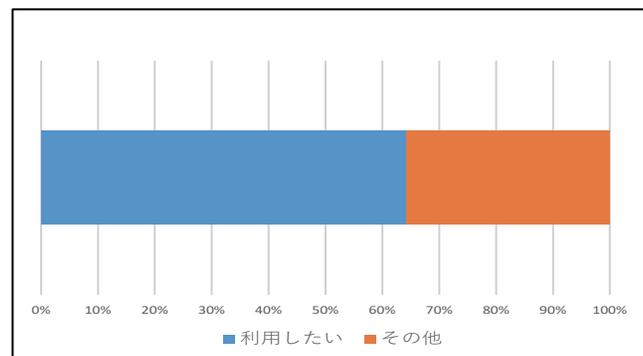
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見 (抜粋)

- ・ 買い物を一度で済ませたいのでルートを描きながら回って来る。地元のお店が回るルートに無い。
- ・ 妻と一緒に買い物行くと、たまにはいつもと違うお店で買い物がしたいと言われるので、地元のお店では無い場合がある。
- ・ 地域通貨は加盟店の確保が大事と考える。
- ・ カードタイプと電子マネータイプ（地域通貨）があった方が使い勝手が良いと考える。
- ・ ふるさと納税で地域外からの外貨獲得を獲得してはどうか。
- ・ ふるさと納税の恩恵を受けている地域と自負している。返礼品として、天龍峡の名物が無いのが残念。ツアー利用券、天龍峡宿泊券、農家民泊の利用券など考案し有効活用したい。
- ・ 飯田市版クラウドファンディングを是非作って欲しい。現状では民間取引業者へ25%の支払いが発生する。
- ・ 地域通貨は、イニシャルコストが発生すると思うので地元の商店でも採用可能な方法がほしい。

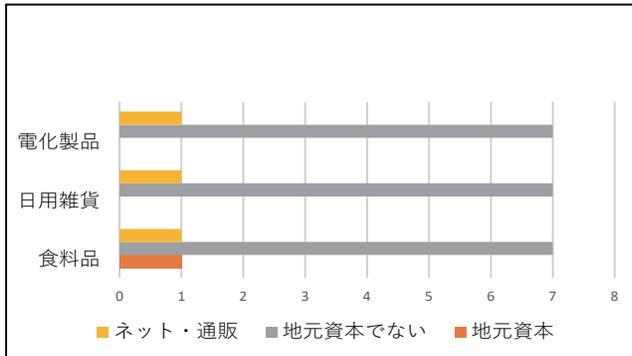
アンケート集計 ②

～ 地区別 下久堅地区 ～

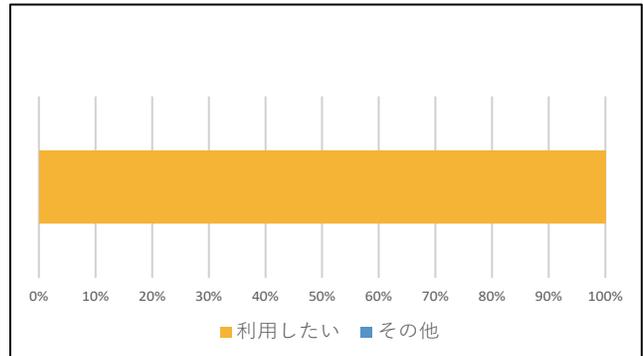


▼ 回答者 7人

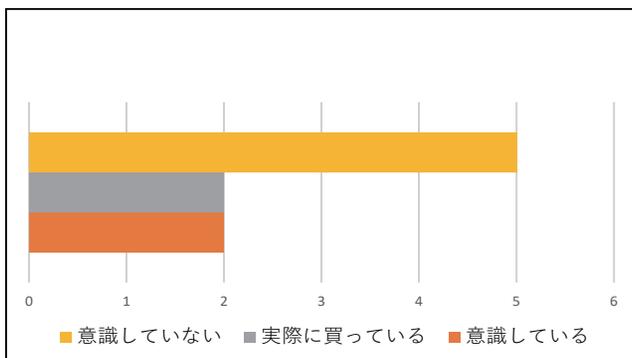
日頃利用されるお店は地元資本ですか



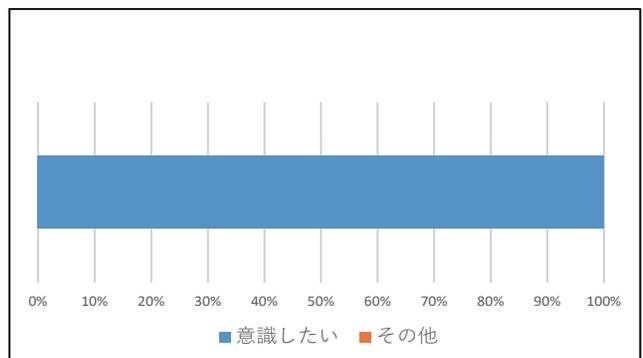
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



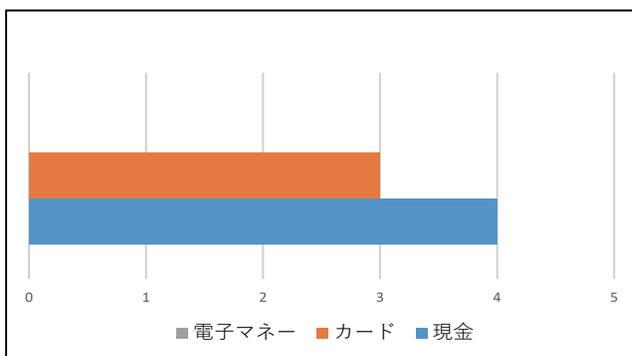
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



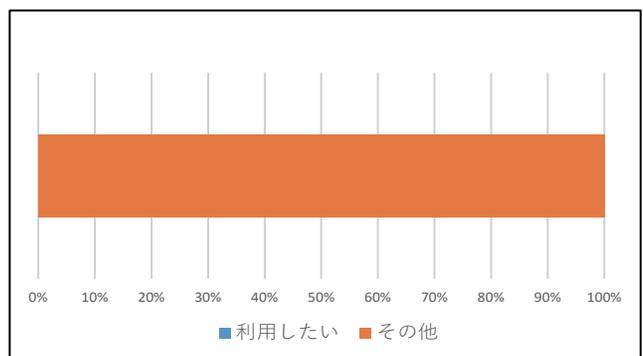
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- ・義理もあるし酒は地元で買う。
- ・近くでもあり、通勤途中のパローで買い物をする。品ぞろえも良く、駐車場の心配も無い。
- ・品物にもよる。刺身・野菜はJAに行く。休日は少し遠くへ行く。
- ・本当は近くの小さな店に行きたい。取寄せしてくれるし配達してくれる。
- ・野菜など少し高いが、地元産を気にして買っている。
- ・地元産野菜は生産者の名前があるのは良いこと。
- ・プレミアム商品券は使ったけど、地域の店を充実してほしい。
- ・地域通貨は大型店ばかりになってしまった現状で実施できるのか。
- ・地産地消・乾杯は地元産のお酒やジュースで、最近やらなくなった。
- ・コメリ・ネット通販しか利用してこなかったが、地元を使わなくてはと思うようになった。

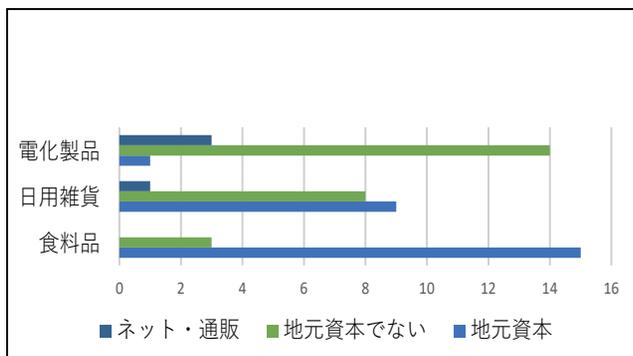
アンケート集計 ②

～ 地区別 上久堅・千代・龍江地区 ～

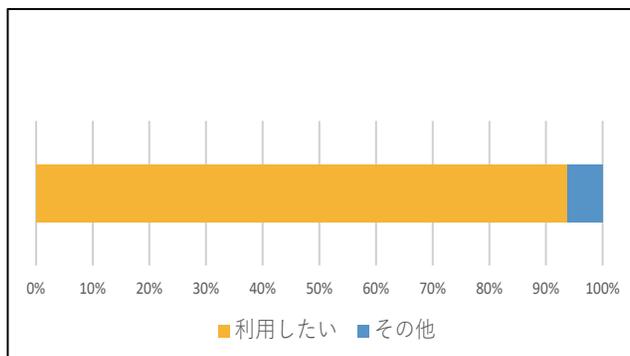


▼ 回答者 16人

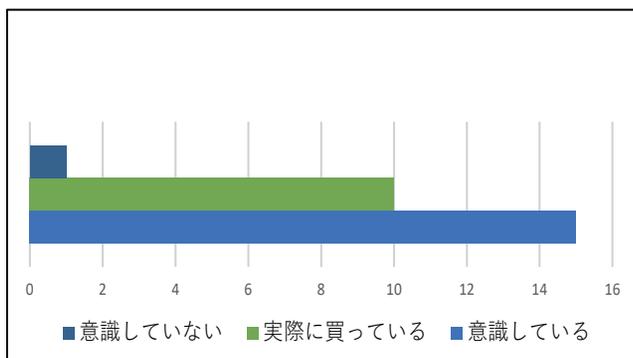
日頃利用されるお店は地元資本ですか



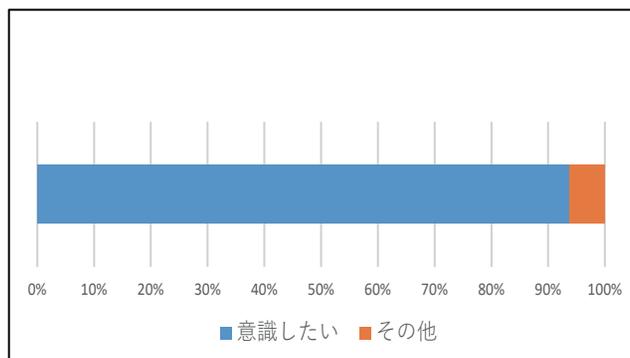
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



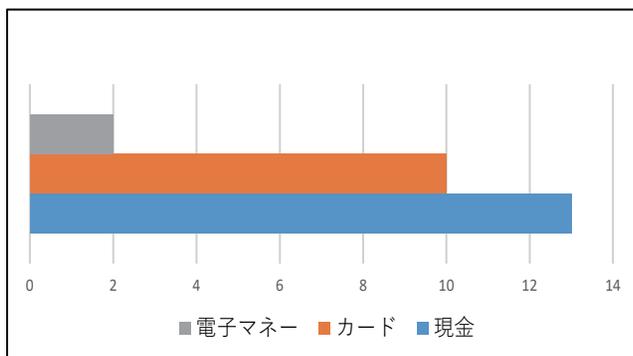
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



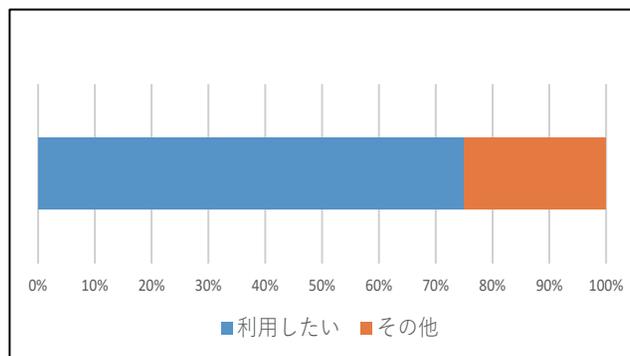
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- ・地域からのテーマ「災害に強い地域づくり」について意見交換したため、地域内経済の循環の説明とアンケートのみ実施しました。（アンケート項目の意見交換なし）

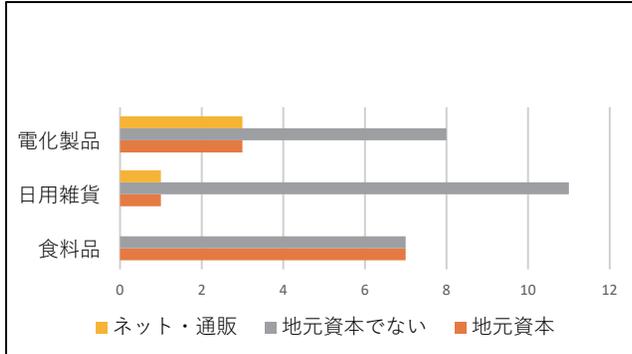
アンケート集計 ②

～ 地区別 橋北・橋南・東野地区 ～

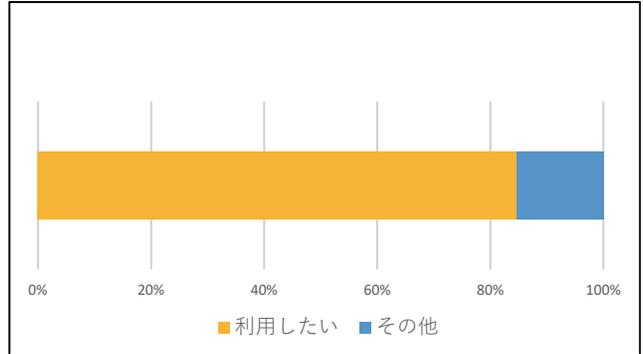


▼ 回答者 13人

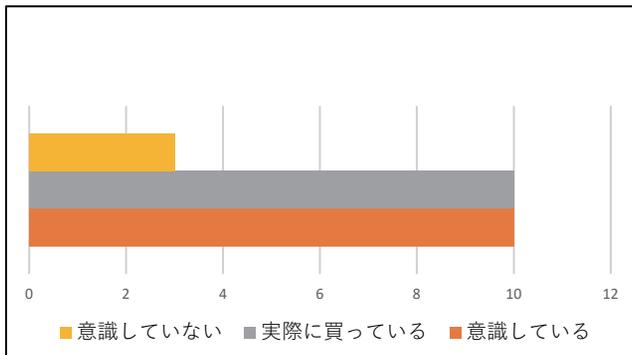
日頃利用されるお店は地元資本ですか



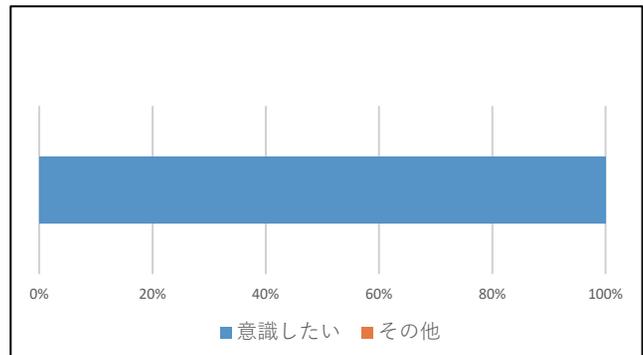
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



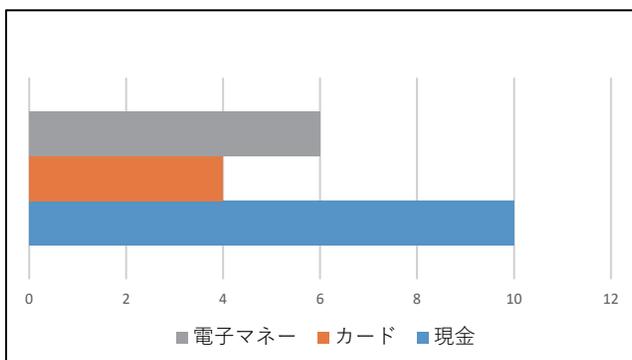
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



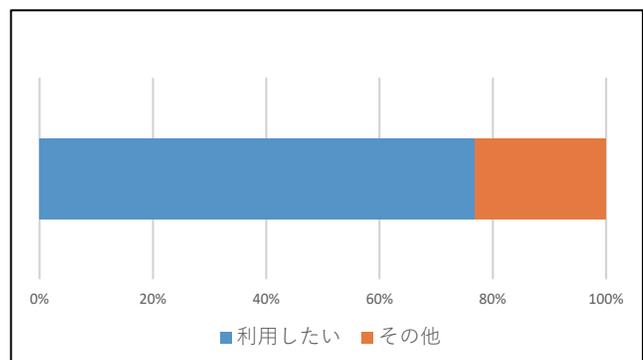
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- ・勤務地の通り沿いの店舗を利用、単価が安いところを利用する。
- ・食料品は新鮮なものを求めて近場の店を利用する。日用雑貨は店舗がないのでネット等を使うことが多い。
- ・日用雑貨の地元資本の店かどうかを知らない市民が多い。地元の店の啓発「地元で買おうキャンペーン」等、住民に知っていただくことが利用につながる。また、若い人たちはネットや通販等で買うことが多い。
- ・資料に乗ってない分野では「旅行・娯楽」の分野があると思います。圧倒的に地域外を選択している。若い人たちが行く場所（映画館・ラウンドアップ・スターバックス等）があれば地域内にお金が落ちる。
- ・生産者の名前が入った農業生産野菜等を都会の人に贈ると喜ばれる。生産者のブランド化が進んできている。
- ・子どもが東京でバイトにて生計を立てており帰ってこないと言っている。本日出席させていただき、地元へ帰って自分たちで起業していけるようなメニューが出来れば、帰ってくる可能性も増えると感じた。

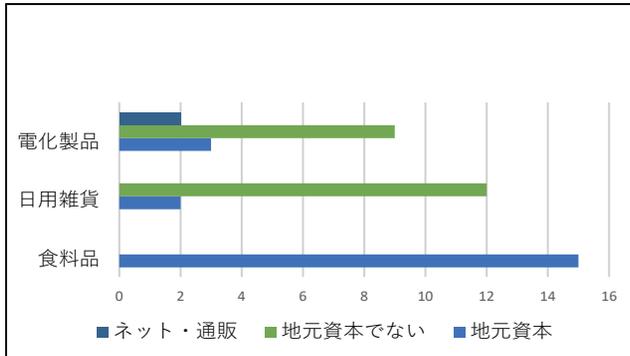
アンケート集計 ②

～ 地区別 羽場・丸山地区 ～

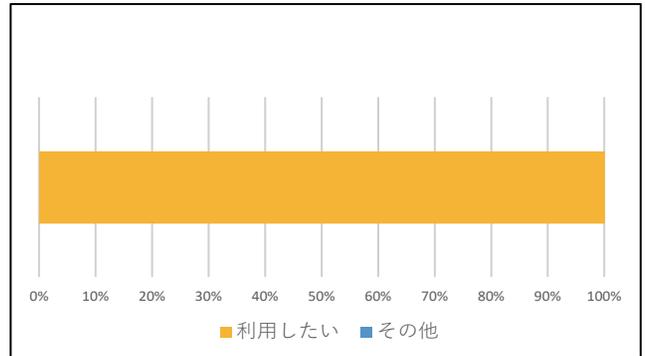


▼ 回答者 15人

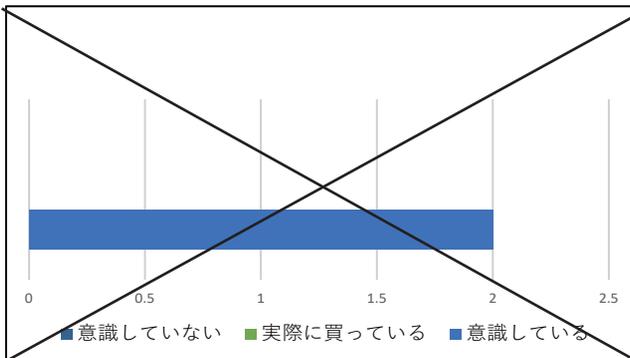
日頃利用されるお店は地元資本ですか



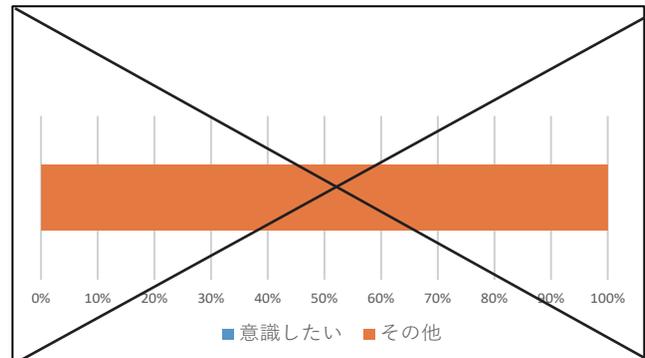
今後、地元資本のお店を利用したいとお考えですか



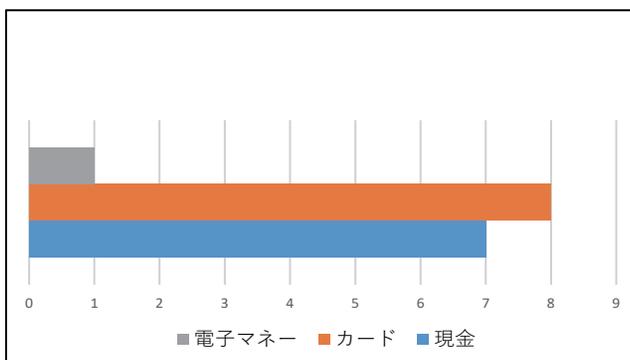
普段の買い物時に地元農産物を意識したお買い物をされていますか



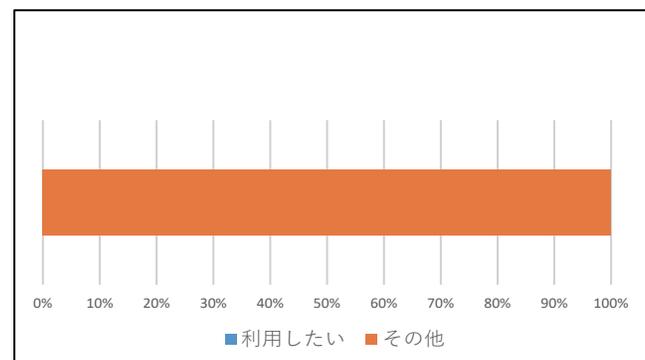
今後、地元農産物を意識したお買い物をお考えですか



お買い物時のお支払い方法について



地域通貨を利用したいとお考えですか



▼ いただいたご意見（抜粋）

- ・ 食料品の買い物は、キラヤか A コープ。
- ・ 野菜は、新鮮で安いものを買う。「地産地消」が先にあるのではない。
- ・ キラヤで買い物をしているが、卵は値段ではなく、高くても安全性の高い地元のものを選んでる。加工品も値段ではなく、添加物の少ないものを買う。地元のものを優先して買うことが多い。
- ・ 車屋を経営している。昨年のプレミアム商品券にも、事業者側として参加した。あれも地域通貨の一種だと思う。車検やオイル交換で使ってもらえればと考えたが、自分のところでの利用は数えるほどだった。
- ・ 前進は必要なので、地域のためには、地域内の循環には取り組まざるを得ないと思う。
- ・ 地元の企業を応援する仕組みを考えた方がいいのでは。
- ・ 「エシカル消費」「地球環境に優しい製品」といった点をアピールし、そういう店で支出をするように仕向ける。単価だけではない価値が生まれ、消費者もそうした店や企業を応援するようになるのでは。

アンケート集計 ③

～頂いたご意見の概要（一部抜粋）～

【地域経済循環全般】

- 地域内経済循環率の視点は重要。一方では、自分たちだけの利益に留まらず、長所を生かした地域間連携ができればよい。
- 農作物、製品など自慢できるモノで外貨を稼ぐ検討が必要。
- 地域からの流出の低減が大事であるが、一方では収入を得るための高付加価値な企業や大学を誘致するなど収入の増大と若者の働く場所を作ることが重要。
- 議会報告・意見交換会に参加して、地元産に目が向くようになった。
- 旅行・娯楽の場があれば、消費額が増えるのではないか。
- 地域循環にとって、人口を増やすことも重要。
- 「エシカル消費」「地球環境に優しい製品」といった言葉のアピールが必要。仕掛けと意識を持った企業経営が、消費者に単価だけではない価値が生まれる。
- 観光産業から交流人口の拡大が外貨獲得に必要。
- リニア開業で、二地域居住の視点も重要。

【地元産・ブランド化】

- 地元産は、生産量・販売場所の増、取扱店舗の増など需要の拡大も必要。
- 生産物がさばききれない場合の加工品の開発も必要。
- 生産者の事業承継がなされなければ、生産量を増やすことは難しい。
- 農林をブランド化する従事者が少ない。
- 生産物の流通に目を向けた戦略を考える必要がある。
- 五平餅・焼肉・漬物の価値は、外部からの視点が重要。
- 一方、焼肉だけでは、交流人口の増大の寄与は少ないのではないか。
- りんご並木のポテンシャル（潜在力）を生かすことが必要。

【買い物先】

- 消費者は、品揃え、安くて、いいものを選ぶことから、外部資本の店舗に人は流れてしまう。
- 家族でレジャー的な要素も魅力的。
- 質より量で判断することもある。
- 一方、雇用創出もあることからその視点も大切。
- 買い物弱者にとって、近隣に店舗があることが必要。
- 美味しいと聞けば、立ち寄る。名物の創作も大事。
- 南信州牛といったブランド肉は、年に数回購入する。流通は京都からのみであるとすれば、寂しい感がある。
- 店舗内に地元販売コーナーがあれば、意識づけにつながる。
- 陳列方法にも工夫が必要。
- 地元産の如何に関わらず、品質が大事。
- 価格は割高だが、意識して地元産を購入。
- 価格を優先して購入してしまう。
- 食品は品質や添加物などに気かけ、地元産を購入。
- ネットや宅配業者は、便利。
- 地元野菜を扱う店舗の立地場所は、交通の便が良いところが望ましい。
- 野菜は地元、他は大型店。電化製品は量販店で購入。
- 若い世代は、ネット通販、翌日配送の魅力は大きい。
- 近隣店舗での購入が、取り寄せや配達で魅力的。
- 野菜は、新鮮なJA、豊丘マルシェ、価格も量も多い。
- 電気機器は、大型店から購入してしまう。

【地域通貨】

- 大手プラットフォームは、ポイントに魅力がある。
- 地域通貨の課題をしっかりと認識しておく必要がある。
- 事業者にとって、ポイント分の負担は大きい。
- 大手プラットフォームは手数料が高い。
- 値段の安い手数料や魅力的なポイント付与が必要。
- 付与するポイントの魅力がカギ。
- 加入店舗数が多いことが必要。
- デジタル弱者にとっては、利用できない。
- 電子通貨は利用することに不安がある。
- 地域通貨は困り込みでしかないように感じる。



第3分科会「意見交換」

～地域のお金を地域の中で回すためには～

人口減少社会、そしてネット社会となり、地方から都会に人やお金が流れ出ているのが現状です。地域が豊かになるためには、地域の中でお金を回すこと、地域の外からお金を流入させていくことが重要です。

今私たちにできることは何か、今後何が大切なのか、地域の皆さんと一緒に考える機会にさせていただければと思います。



域産域消を進めるためには？

- 地元スーパーの現地踏査から見てきたものは…



地域の資源になり得るものは？

- 地元のブランドになり得るものは、食べ物、文化、観光
例えば野菜や美味しいもの、その認定は…



使いやすい地域通貨は？

- 今の現状はどうか…



市内スーパー24店舗

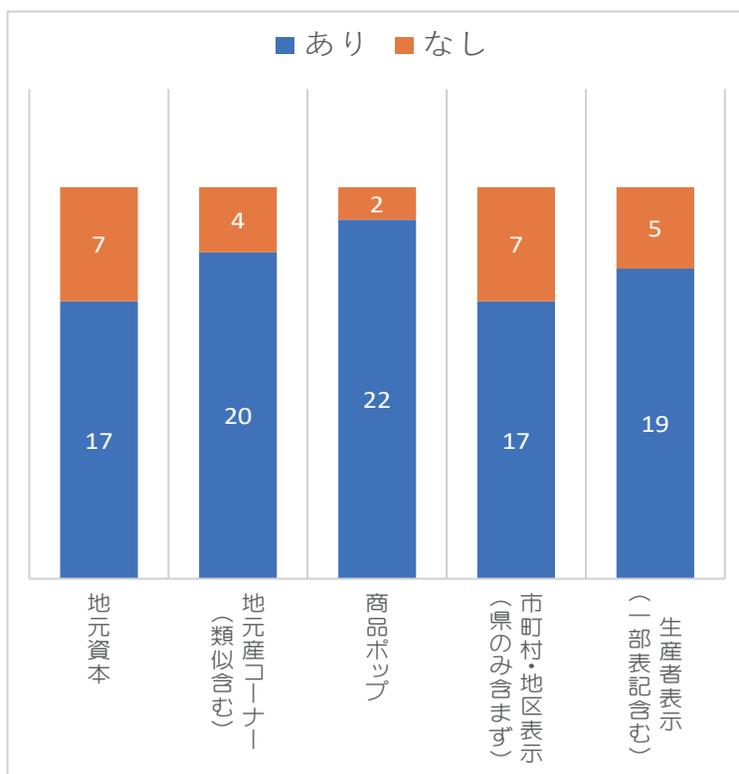
～ 産業建設委員会 踏査結果 ～

産業建設委員会では、地域内経済の循環をテーマとし、昨年度は、地域の皆さんの身近な普段の買い物の状況について意見交換をさせていただきました。

その集計結果から、①食料品は地元資本の店を利用されている方が多い、②買い物時に地元農産物を意識していない方が約 1/3 を占めている、③今後地元農産物を意識した買い物をしたいと回答した方が 8 割を超えている結果となりました。

産業建設委員会では、まずは、地元の農畜産物が現状どのように販売されているか把握するため、9/19 に市内スーパー 24 店舗の踏査を行いました。

※共通事項の踏査結果は右図。



▼ 地元資本

- 今回の踏査は、食料品を扱っている地元資本の 17 店舗（地元のチェーン店や農産物直売所、個人商店など）と、地元資本でない全国チェーン店 7 店舗、全体で 24 店舗の踏査調査を行いました。

▼ 地元産コーナー

- 24 店舗中、20 店舗が「地元産コーナー」（農産物直売所は店自体をコーナーとした）を設置していました。
- 全国チェーン店 7 店舗は、全ての店舗にコーナーが設置されていました。
- 大型看板や登り旗がありコーナーが売り場の中心になっている店舗、逆にコーナーはあるがあまり目立っていない店舗など、各店舗により状況に違いがありました。

▼ 商品ポップ

- 24 店舗中、22 店舗が商品のポップを行っていました。大きさや書かれている内容など、各店舗により状況に違いがありました。

▼ 市町村・地区表示

- 24 店舗中、17 店舗が産地表示を市町村・地区表示としていました。一方で全国チェーン店は「長野県産」と表示している店舗の方が、割合が高い結果となりました。

▼ 生産者表示

- 24 店舗中、19 店舗で生産者の表示がされていました。地元資本の比較的小さな店舗では、生産者表示がされていない状況でした。